

## ISO 9001:2008 と ISO 9001:2015 との相関表

この文書は、ISO 9001:2008 から ISO 9001:2015 及び ISO 9001:2015 から ISO 9001:2008 の相関表を示す。

この文書は、変更されていない箇条がどこかということに加えて、新たな箇条、改訂された箇条及び削除された箇条がどこにあるかを明らかにするために用いることができる。

ISO 9001:2015 の附属書 A には、次の記載がある。

### A.1 構造及び用語

- この規格の箇条の構造（すなわち、箇条の順序）及び一部の用語は、他のマネジメントシステム規格との一致性を向上させるために、旧規格である JIS Q 9001:2008 から変更している。
- この規格では、組織の品質マネジメントシステムの文書化した情報にこの規格の構造及び用語を適用することは要求していない。
- 箇条の構造は、組織の方針、目標及びプロセスを文書化するためのモデルを示すというよりも、要求事項を首尾一貫した形で示すことを意図している。品質マネジメントシステムに関する、文書化した情報の構造及び内容は、その情報が組織によって運用されるプロセスと他の目的のために維持される情報との両方に関する場合は、より密接に利用者に関連するものになることが多い。
- 組織で用いる用語を、品質マネジメントシステム要求事項を規定するためにこの規格で用いている用語に置き換えることは要求していない。組織は、それぞれの運用に適した用語を用いることを選択できる（例えば、“文書化した情報”ではなく、“記録”，“文書類”又は“プロトコル”を用いる。“外部提供者”ではなく，“供給者”，“パートナー”又は“販売者”を用いる。）。ISO9001 : 2015 と ISO9001:2008 との間の用語における主な相違点に関する情報は、ISO 9001:2015 の表 A.1 に示されている。

## ISO 9001:2015 から ISO 9001:2008 の相関表

JIS Q 9001:2015	JIS Q 9001:2008
<b>1 適用範囲</b>	<b>1 適用範囲</b> 1.1 一般
<b>4 組織の状況</b>	<b>4 品質マネジメントシステム</b>
4.1 組織及びその状況の理解	4 品質マネジメントシステム 5.6 マネジメントレビュー
4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解	4 品質マネジメントシステム 5.6 マネジメントレビュー
4.3 品質マネジメントシステムの適用範囲の決定	1.2 適用 4.2.2 品質マニュアル
4.4 品質マネジメントシステム及びそのプロセス	4 品質マネジメントシステム 4.1 一般要求事項
<b>5 リーダーシップ</b>	<b>5 経営者の責任</b>
5.1 リーダーシップ及びコミットメント	5.1 経営者のコミットメント
5.1.1 一般	5.1 経営者のコミットメント
5.1.2 顧客重視	5.2 顧客重視
5.2 方針	5.3 品質方針
5.2.1 品質方針の確立	5.3 品質方針
5.2.2 品質方針の伝達	5.3 品質方針
5.3 組織の役割、責任及び権限	5.5.1 責任及び権限 5.5.2 管理責任者 5.4.2 品質マネジメントシステムの計画
<b>6 計画</b>	5.4.2 品質マネジメントシステムの計画
6.1 リスク及び機会への取組み	5.4.2 品質マネジメントシステムの計画 8.5.3 予防処置
6.2 品質目標及びそれを達成するための計画策定	5.4.1 品質目標
6.3 変更の計画	5.4.2 品質マネジメントシステムの計画
<b>7 支援</b>	<b>6 資源の運用管理</b>
7.1 資源	6 資源の運用管理
7.1.1 一般	6.1 資源の提供
7.1.2 人々	6.1 資源の提供
7.1.3 インフラストラクチャ	6.3 インフラストラクチャー
7.1.4 プロセスの運用に関する環境	6.4 作業環境
7.1.5 監視及び測定のための資源	7.6 監視機器及び測定機器の管理
7.1.5.1 一般	7.6 監視機器及び測定機器の管理
7.1.5.2 測定のトレーサビリティ	7.6 監視機器及び測定機器の管理
7.1.6 組織の知識	同等の箇条はない
7.2 力量	6.2.1 一般 6.2.2 力量、教育・訓練及び認識
7.3 認識	6.2.2 力量、教育・訓練及び認識
7.4 コミュニケーション	5.5.3 内部コミュニケーション
7.5 文書化した情報	4.2 文書化に関する要求事項
7.5.1 一般	4.2.1 一般
7.5.2 作成及び更新	4.2.3 文書管理 4.2.4 記録の管理
7.5.3 文書化した情報の管理	4.2.3 文書管理

	4.2.4 記録の管理
<b>8 運用</b>	<b>7 製品実現</b>
8.1 運用の計画及び管理	7.1 製品実現の計画
8.2 製品及びサービスに関する要求事項	7.2 顧客関連のプロセス
8.2.1 顧客とのコミュニケーション	7.2.3 顧客とのコミュニケーション
8.2.2 製品及びサービスに関する要求事項の明確化	7.2.1 製品に関連する要求事項の明確化
8.2.3 製品及びサービスに関する要求事項のレビュー	7.2.2 製品に関連する要求事項のレビュー
8.2.4 製品及びサービスに関する要求事項の変更	7.2.2 製品に関連する要求事項のレビュー
8.3 製品及びサービスの設計・開発	7.3 設計・開発
8.3.1 一般	7.3.1 設計・開発の計画
8.3.2 設計・開発の計画	7.3.1 設計・開発の計画
8.3.3 設計・開発へのインプット	7.3.2 設計・開発へのインプット
8.3.4 設計・開発の管理	7.3.4 設計・開発のレビュー 7.3.5 設計・開発の検証 7.3.6 設計・開発の妥当性確認
8.3.5 設計・開発からのアウトプット	7.3.3 設計・開発からのアウトプット
8.3.6 設計・開発の変更	7.3.7 設計・開発の変更管理
8.4 外部から提供されるプロセス，製品及びサービスの管理	7.4.1 購買プロセス
8.4.1 一般	4.1 一般要求事項 7.4.1 購買プロセス
8.4.2 管理の方式及び程度	7.4.1 購買プロセス 7.4.3 購買製品の検証
8.4.3 外部提供者に対する情報	7.4.2 購買情報 7.4.3 購買製品の検証
8.5 製造及びサービス提供	7.5 製品及びサービス提供
8.5.1 製造及びサービス提供の管理	7.5.1 製造及びサービス提供の管理 7.5.2 製造及びサービス提供に関するプロセスの妥当性確認
8.5.2 識別及びトレーサビリティ	7.5.3 識別及びトレーサビリティ
8.5.3 顧客又は外部提供者の所有物	7.5.4 顧客の所有物
8.5.4 保存	7.5.5 製品の保存
8.5.5 引渡し後の活動	7.5.1 製造及びサービス提供の管理
8.5.6 変更の管理	7.3.7 設計・開発の変更管理
8.6 製品及びサービスのリリース	7.4.3 購買製品の検証 8.2.4 製品の監視及び測定
8.7 不適合なアウトプットの管理	8.3 不適合製品の管理
<b>9 パフォーマンス評価</b>	<b>8 測定，分析及び改善</b>
9.1 監視，測定，分析及び評価	8 測定，分析及び改善
9.1.1 一般	8.1 一般 8.2.3 プロセスの監視及び測定
9.1.2 顧客満足	8.2.1 顧客満足
9.1.3 分析及び評価	8.4 データの分析
9.2 内部監査	8.2.2 内部監査
9.3 マネジメントレビュー	5.6 マネジメントレビュー
9.3.1 一般	5.6.1 一般
9.3.2 マネジメントレビューへのインプット	5.6.2 マネジメントレビューへのインプット
9.3.3 マネジメントレビューからのアウトプット	5.6.3 マネジメントレビューからのアウトプット
<b>10 改善</b>	8.5 改善

10.1 一般	8.5.1 継続的改善
10.2 不適合及び是正処置	8.3 不適合製品の管理 8.5.2 是正処置
10.3 継続的改善	8.5.1 継続的改善 8.5.3 予防処置

## ISO 9001:2008 から ISO 9001:2015 の相関表

JIS Q 9001:2008	JIS Q 9001:2015
<b>1 適用範囲</b>	<b>1 適用範囲</b>
1.1 一般	1 適用範囲
1.2 適用	4.3 品質マネジメントシステムの適用範囲の決定
<b>4 品質マネジメントシステム</b>	<b>4 組織の状況</b>
	4.1 組織及びその状況の理解
	4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解
	4.4 品質マネジメントシステム及びそのプロセス
4.1 一般要求事項	4.4 品質マネジメントシステム及びそのプロセス
	8.4 外部から提供されるプロセス，製品及びサービスの管理
4.2 文書化に関する要求事項	7.5 文書化した情報
4.2.1 一般	7.5.1 一般
4.2.2 品質マニュアル	4.3 品質マネジメントシステムの適用範囲の決定
	7.5.1 一般
	4.4 品質マネジメントシステム及びそのプロセス
4.2.3 文書管理	7.5.2 作成及び更新
	7.5.3 文書化した情報の管理
4.2.4 記録の管理	7.5.2 作成及び更新
	7.5.3 文書化した情報の管理
<b>5 経営者の責任</b>	<b>5 リーダーシップ</b>
5.1 経営者のコミットメント	5.1 リーダーシップ及びコミットメント
	5.1.1 一般
5.2 顧客重視	5.1.2 顧客重視
5.3 品質方針	5.2 方針
	5.2.1 品質方針の確立
	5.2.2 品質方針の伝達
5.4 計画	<b>6 計画</b>
5.4.1 品質目標	6.2 品質目標及びそれを達成するための計画策定
5.4.2 品質マネジメントシステムの計画	5.3 組織の役割，責任及び権限
	6 計画
	6.1 リスク及び機会への取組み
	6.3 変更の計画
5.5 責任，権限及びコミュニケーション	5 リーダーシップ
5.5.1 責任及び権限	5.3 組織の役割，責任及び権限
5.5.2 管理責任者	5.3 組織の役割，責任及び権限
5.5.3 内部コミュニケーション	7.4 コミュニケーション
5.6 マネジメントレビュー	4 組織の状況
	4.1 組織及びその状況の理解
	4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解
	9.3 マネジメントレビュー
5.6.1 一般	9.3.1 一般
5.6.2 マネジメントレビューへのインプット	9.3.2 マネジメントレビューへのインプット
5.6.3 マネジメントレビューからのアウトプット	9.3.3 マネジメントレビューからのアウトプット
<b>6 資源の運用管理</b>	<b>7 支援</b>
	7.1 資源
6.1 資源の提供	7.1.1 一般
	7.1.2 人々

6.2 人的資源	7.2 力量
6.2.1 一般	7.2 力量
6.2.2 力量, 教育・訓練及び認識	7.2 力量 7.3 認識
6.3 インフラストラクチャー	7.1.3 インフラストラクチャー
6.4 作業環境	7.1.4 プロセスの運用に関する環境
<b>7 製品実現</b>	<b>8 運用</b>
7.1 製品実現の計画	8.1 運用の計画及び管理
7.2 顧客関連のプロセス	8.2 製品及びサービスに関する要求事項
7.2.1 製品に関連する要求事項の明確化	8.2.2 製品及びサービスに関する要求事項の明確化
7.2.2 製品に関連する要求事項のレビュー	8.2.3 製品及びサービスに関する要求事項のレビュー 8.2.4 製品及びサービスに関する要求事項の変更
7.2.3 顧客とのコミュニケーション	8.2.1 顧客とのコミュニケーション
7.3 設計・開発	8.3 製品及びサービスの設計・開発
7.3.1 設計・開発の計画	8.3.1 一般 8.3.2 設計・開発の計画
7.3.2 設計・開発へのインプット	8.3.3 設計・開発へのインプット
7.3.3 設計・開発からのアウトプット	8.3.5 設計・開発からのアウトプット
7.3.4 設計・開発のレビュー	8.3.4 設計・開発の管理
7.3.5 設計・開発の検証	8.3.4 設計・開発の管理
7.3.6 設計・開発の妥当性確認	8.3.4 設計・開発の管理
7.3.7 設計・開発の変更管理	8.3.6 設計・開発の変更 8.5.6 変更の管理
7.4 購買	8.4 外部から提供されるプロセス, 製品及びサービスの管理
7.4.1 購買プロセス	8.4 外部から提供されるプロセス, 製品及びサービスの管理 8.4.1 一般 8.4.2 管理の方式及び程度
7.4.2 購買情報	8.4.3 外部提供者に対する情報
7.4.3 購買製品の検証	8.4.2 管理の方式及び程度 8.4.3 外部提供者に対する情報 8.6 製品及びサービスのリリース
7.5 製造及びサービス提供	8.5 製造及びサービス提供
7.5.1 製造及びサービス提供の管理	8.5.1 製造及びサービス提供の管理 8.5.5 引渡し後の活動
7.5.2 製造及びサービス提供に関するプロセスの妥当性確認	8.5.1 製造及びサービス提供の管理
7.5.3 識別及びトレーサビリティ	8.5.2 識別及びトレーサビリティ
7.5.4 顧客の所有物	8.5.3 顧客又は外部提供者の所有物
7.5.5 製品の保存	8.5.4 保存
7.6 監視機器及び測定機器の管理	7.1.5 監視及び測定のための資源 7.1.5.1 一般 7.1.5.2 測定の特レーサビリティ
<b>8 測定, 分析及び改善</b>	<b>9 パフォーマンス評価</b>
8.1 一般	9.1 監視, 測定, 分析及び評価 9.1.1 一般
8.2 監視及び測定	9.1 監視, 測定, 分析及び評価
8.2.1 顧客満足	9.1.2 顧客満足

8.2.2 内部監査	9.2 内部監査
8.2.3 プロセスの監視及び測定	9.1.1 一般
8.2.4 製品の監視及び測定	8.6 製品及びサービスのリリース
8.3 不適合製品の管理	8.7 不適合なアウトプットの管理 10.2 不適合及び是正処置
8.4 データの分析	9.1.3 分析及び評価
8.5 改善	<b>10 改善</b>
8.5.1 継続的改善	10.1 一般 10.3 継続的改善
8.5.2 是正処置	10.2 不適合及び是正処置
8.5.3 予防処置	6.1 リスク及び機会への取組み（6.1.1 及び 6.1.2 参照） 10.3 継続的改善